

「消防団の力向上モデル事業」事業紹介

NO.	62	地方公共 団体名	京都府 長岡京市	消防団 名	京都府 長岡京市消防団
担当課	市民協働部 防災・安全推進室	連絡先	Tel : 075-951-2121 Email : bousaianzen @city.nagaokakyo.kyoto.lg.jp		

事業名 地域で取り組む防災力の強化

事業詳細

○ 事業の目的・必要性

■目的

・消防団と地域住民の顔の見える関係づくりと高層建築物を活用した垂直避難方法の確立と避難行動力の向上

■必要性

・地域防災の要として消防団が設置されているが、発災時に、地域の住民と連携した避難行動をとるため、日頃からお互いの顔が見える関係を作り、地域全体で逃げ遅れないように、消防団と地域住民が一丸となって避難する体制の構築が必要

・市内に増加しつつある高層建築物を活用し、垂直避難時のノウハウ取得や避難時の行動力向上を目的とした訓練を消防団と地域住民が連携して実施し、災害時における高層建築物の活用した要配慮者の避難の在り方及び浸水想定区域における避難行動について検証する必要がある。

○ 事業内容

・市総合防災訓練の一環として、エレベータ施設を有しない5階建て団地の5階に居住している要救助者について、消防団、地域住民、自主防災組織及び市が連携して避難訓練を実施

・通報に基づき、消防団員、地域住民、自主防災組織、市が連携し、要救助者を5階居室からエア担架を用いて階段を利用し1階まで搬送。

・1階に到着後、エア担架から車いすに乗せ換え、避難所として開設した長岡第六小学校体育館に移送。



エア担架と使用しての移動の様子



車いすを使つての移動の様子

○ 目標達成状況

指標	単位	当初目標値	実績値	備考
説明会	回数	2回	0回	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催を取りやめ
訓練参加者	人数	200人	280人	長岡京市立長岡第六小学校会場における参加者数
検討会・打ち合わせ	回数	3回	6回	

○ 事業成果

消防団については、被災時に地域防災の要となる組織である。一方、地域住民との繋がりはいまだ決して深いものとは言えず希薄なものであったが、今回の訓練を通じて、お互いの顔が見える関係づくりを行うことができた。今後、災害発災時において、消防団と地域住民が相互に協力し、逃げ遅れのない避難体制づくりに向け、その第一歩を踏み出すことができたものとする。

その他参考情報	※URLの記載などをお願いします。
---------	-------------------